**校内研修計画**

**笛　川　中　学　校**

**１．学校課題**

本校は山間部に位置し，豊かな自然に恵まれた地域にある。生徒の減少が続いており，全ての学年が単級となっている。日々の学校生活を楽しむ純朴な生徒が多い。スクールバスを利用しての通学をする生徒が大半で，活動時間には制約がある。そのような中でも学習活動，学校行事，生徒会活動，部活動等，意欲的に取り組む様子がうかがえる。家庭や地域社会とのつながりもあり，望ましい教育環境にある。一方，クラス替えがなく，長い生徒では保育園からの固定された人間関係があり，自ら集団の向上のために声をかけること，新しいことを受け入れ自分なりに工夫し，変化を加えることについては弱さが見られる。教職員からの指示を受けてから気づき動くことはできているが，今後は自分たちを客観的な視点で見つめ，物事の改善のために知恵を出し行動する力を身につけてもらいたい。

**２. 研究主題**

**主体的に学習に取り組む生徒の育成**

**～「見方・考え方」を働かせた深い学びを促す指導の在り方～**

**３. 主題設定の理由**

**主体的に学習に取り組む生徒の育成」**という本題は踏襲し，前年度の反省にあった授業改善に焦点を当てて研究を進めていく。

文部科学省の示す「深い学び」とは，問題を見出して解決策を考えることや，思いや考えを基に創造することが含まれる。これらは，上記学校課題で記した本校生徒に身に着けてもらいたい力と一致する。

また，新学習指導要領では，「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで，資質・能力を身に付けることを目指している。そのため，教員側が，生徒が自分事として捉えられる課題設定を工夫し，生徒が授業で得た「見方・考え方」の価値や良さを実感し，活用できるようになることを目指したい。そこで，副題を「『見方・考え方』を働かせた深い学びを促す指導の在り方」とした。

４. 研究の具体的内容と方法

今年度の校内研は実践研究とし，「個別最適な学び」を目指し，生徒一人ひとりの特性や学習

進度，学習到達度に応じ，指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことなどの「指導の個別化」と，教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで，子供自身の学習が最適となるよう調整する「学習の個性化」を踏まえ進めていく。また，インクルーシブ教育の推進も不可欠であり，ユニバーサルデザイン（ＵＤ）の観点を取り入れながら，ＤＸを活用してアクティブラーニング（ＡＤ）の実現を目指していかなければならない。さらに，探究的な学習や体験活動などを通じ，子供同士で，あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら，あらゆる他者を価値のある存在として尊重し，様々な社会的な変化を乗り越え，持続可能な社会の創り手となることができるよう，必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」にも繋がるよう研究を進めていく。（山梨市ECHOES：エコース学習も含め）

（１）「見方・考え方」を働かせた課題設定の工夫

　　　　自分事になり得る単元を貫く学習課題や本時の課題設定をした上で，「見方・考え方」そのもの

「見方・考え方」を働かせて問題解決することの良さを自覚させるための振り返り方法を考える。

（２）ＩＣＴの効果的な活用

　　　　学習課題を達成するために，授業の場面に応じて効果的なＩＣＴのツール・活用法を実践する。

上記２点を踏まえた一人一実践での授業提供，授業参観と学び合いを行い，成果と課題をまとめる。また，昨年度に引き続き，QU分析を活用した生徒理解を行い，共通理解することで生徒に必要な働きかけ，授業改善を工夫する。

　　具体的な方法

①Q-Uを活用した授業の構造化

最初に目標を提示し，最後に振り返りをするというやまなしスタンダードの視点を生かした授業実践を意識する。

　　　②どの教科も共通したスプレッドシートに１時間のキーワードを記録することで，ＩＣＴを利用するとともに学習内容を焦点化させる。

　　　③生徒の活動でＩＣＴを使った活動をしくみ，生徒の変容を見取る中で効果的であったことを情報共有する。（紀要をまとめる際に実践記録として残す）

**５. 年間研修計画**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **回** | **202４年度****研究会予定** | **研　究　内　容** | **TC****要請** |
| 　１ | ４月　３日（水） | 今年度の研究の方向性の確認 |  |
| 　２ | ４月１０日（水） | 年間計画，学習評価，家庭学習の取組について |  |
| 　３ | ４月２５日（木） | ふりかえりの方法の検討 |  |
| 第１回Q-U実施　５月７日（仮） |
| **5月１５日（水）ブロック交流①　授業公開（於：加納岩小学校）** |  |
| 　４ | ５月２２日（水） | Q-U分析（学年ブロックで検討） |  |
| 　５ | 6月１９日（水） | Q-U分析結果の共有 |  |
| 　６ | ７月　３日（水） | Q-U分析　介入方法について学習会 |  |
| 　７ | 7月１０日（水） | １学期の振り返りと２学期に向けて |  |
| 　８ | ８月２１日（水） | 教育課程説明会還流報告 |  |
| 　９ | ９月２５日（水） | 研究授業に向けて，学習指導案検討 |  |
| １０ | １０月　２日（水） | 研究授業に向けて，学習指導案検討 |  |
| 第２回Q-U実施　10月　　日（未定） |
| １１ | １０月１６日（水） | Q-U分析（学年ブロックで検討） |  |
| １２ | １０月３０日（水） | 研究授業（大村先生） | ○ |
| １３ | １１月　６日（水） | Q-U分析結果の共有 |  |
| **１１／２２（金）ブロック交流②　　情報交換会（於：山梨南中学校）** |  |
| １４ | １２月　４日（水） | ブロック交流を受けての学習会 |  |
| １５ | １月２２日（水） |  |  |
| １６ | ２月　５日（水） |  |  |
| １７ | ２月１９日（水） | 研究紀要について，学校評価アンケートについて |  |
| １８ | ３月　５日（水） | 研究紀要の作成について，来年度の教協体制について |  |

**（研究主任　中島　直美）**